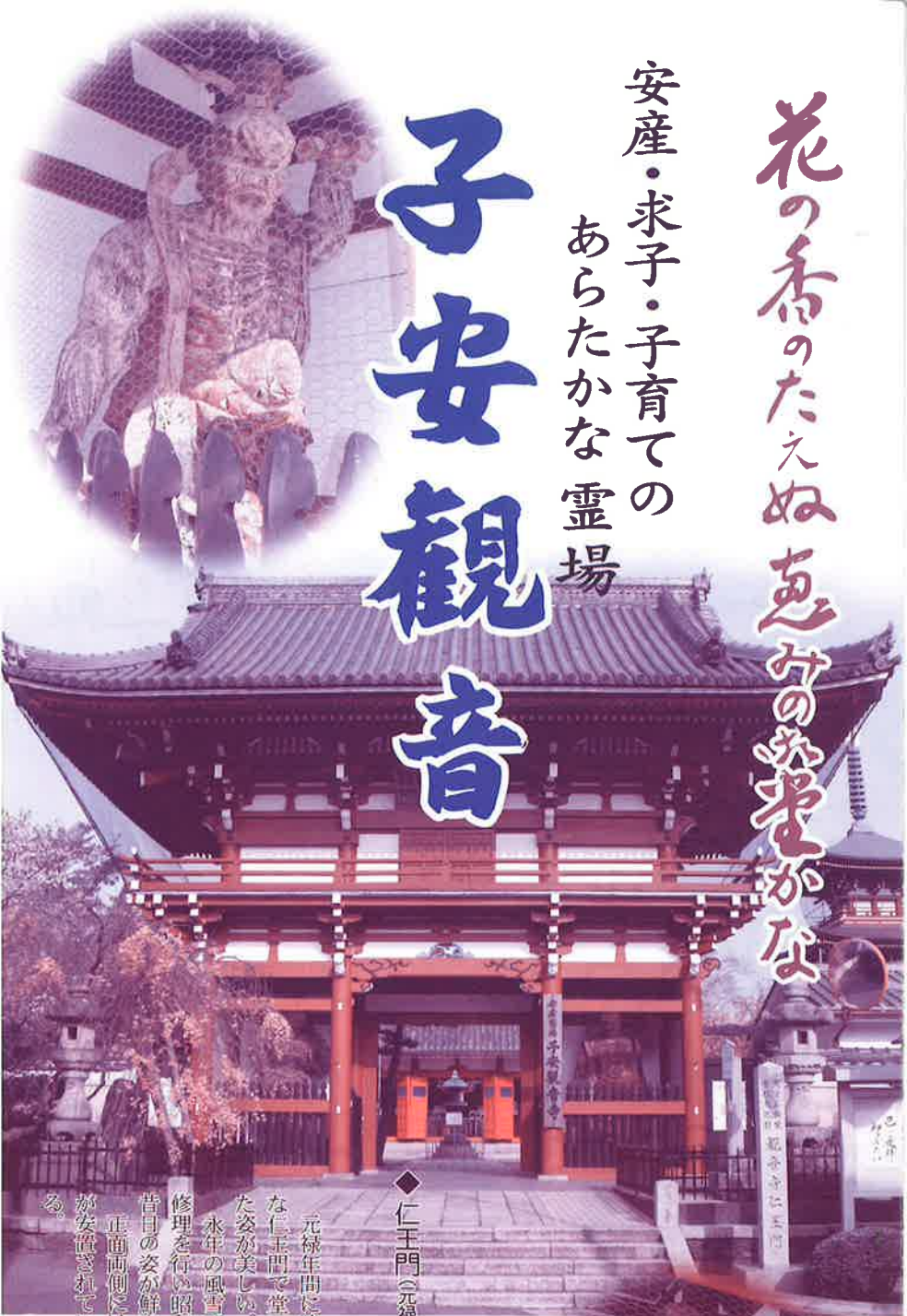


花の香のたえぬあまのあまかな

安産・求子・子育ての

あらたかな霊場

子安観音



◆ 仁王門（元禄十六年造）と金剛力士像

県文化財指定

元禄年間に建立の山門、大型の典型的な仁王門で堂々とした構えと調和のとれた姿が美しい。

永年の風雪で老朽化したので、解体大修理を行い昭和五十七年五月吉日落慶、昔日の姿が鮮やかに甦った。

正面側には、丈六の金剛力士像二体が安置されている。作風が鎌倉様式である。



子安観音寺 (白子山 観音寺)

〒510-0254 三重県鈴鹿市寺家三丁目2-12

TEL(059)386-0046

FAX(059)386-4167

<http://koyasukannon.net> 検索

千二百年つづく深い信仰

かんのんみょうちりき のうく せけんく
観音妙智力 能救世間苦



◆御本尊は白衣観世音

高野山真言宗の名刹で、御本尊に白衣観世音をおまつりし、安産、子育ての靈験あらたかな靈場として全国に知られ、参詣祈願の人々が多い。
 寺伝には「御本尊は殊に大悲深く、難産のうれひを救ひ、子孫長久を守らせ給ふ、ゆへに白衣観音とあがむ」とある。
 白衣観音の御真言(お祈りの言葉)は：
 おん しべいてい しべいてい
 はんだらばしに そわか

◆天平年間開山の勅願寺

人皇第四十五代聖武天皇の天平勝宝年間に創建され、道證上人の開山による千二百年の歴史を秘めた由緒深い寺院である。
 正親町天皇の勅願の論旨も受けている。
 付近には伊勢湾海岸が広がり、寺伝には「この浦に時々鼓の音あり怪しきまま網を下しけるに、鼓に乗り、観世音の尊像上らせ給ふ。このよし帝きこしめし伽藍建立ありて勅願寺となりぬ」とある。
 この浦をいままに鼓ヶ浦と称する。



◆銅燈籠

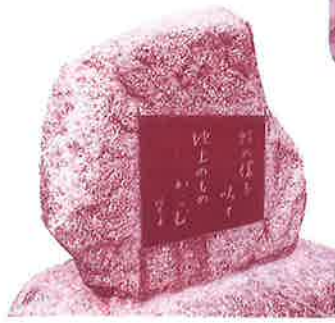
(寛文六年造)
 県文化財指定



鋳物師、辻越後守玄種の貴重な作品。
 傘・中台・反り花など五つの部分が完全な形でそらい作風も手がたい。

◆句碑

俳人山口誓子先生が詠まれた「虹の環を以て 地上のものかこむ」の名句の碑が静かに観世音の無限の慈悲を象徴して立っている。
 この他境内には句碑・歌碑が五基建てられている。



観音安子

産の靈場 安産授けて 子育

智慧の塔

この地方唯一の純木造三重の塔、優美で均整のとれた鎌倉時代様式で塔内には大日如来(金剛界)及び文殊菩薩、普賢菩薩の三尊をお祀りし「智慧の塔」と名付けられた。
 知性と感性をお授けいただく佛様ですので、意願成就、学業成就などの信仰が深まります。



◆書院



寺院の講学の道場で、重要な建築物の一つ
 念持佛をお祀りしております。
 (平成十八年 新造築)

寺宝

◆刺繍曼陀羅(室町時代)

三メートルの大型の掛軸で、面に金糸で浄土図が織込まれている。他に、両界曼陀羅図も種々保存されている。



不断桜

天然記念物国指定



この桜は四季に葉や花が絶えず、大正十二年国(内務省)の天然記念物に指定されている。縁起に「天平宝字年中、雷火の為焼失した伽藍跡に芽生え、四季に花葉絶えず、称徳帝勅使をして禁庭に移させ給ふに、一夜に枯れて見へければ桜を寺へかへさせ給ふ直ちに蘇生す、帝益々御帰依あらせ給ひ「ちかひあり、いつも桜の花なればみる人さへやときはなるべし」と詠まれた」とある。

永祿十年春、連歌師紹巴が東国に下ったときの紀行「富士見道記」に「白子山観音寺に不断桜とて名木あり」と記され、観世流の貞亨三年版にある「不断桜」もこの桜をうたったもので、本尊観世音の靈験により咲くとして尊ばれている。

また、この桜については伊勢型紙の創始説もある。すなわち不断桜の虫喰葉の巧妙な自然の模様が生んだ伊勢型紙彫刻が創められたという。

◆歴史資料館



子安観音寺の長い歴史を物語る貴重な古文書や仏画、絵巻物、水墨画、襖など数多く保存されている。
 特に室町、江戸時代には、京より高僧多く来山しており、また皇族、諸大名からの祈願の記録も多く残っている。
 当山所蔵の貴重な佛画や古文書、俳人山口誓子氏の揮毫、伊勢型紙人間国宝作品など展示されている。開館日は当山の縁日等に合せて随時決めている。

◆紀州・尾張・水戸徳川御三家の安産祈願文



天正年中・正親町天皇勅願寺の論旨



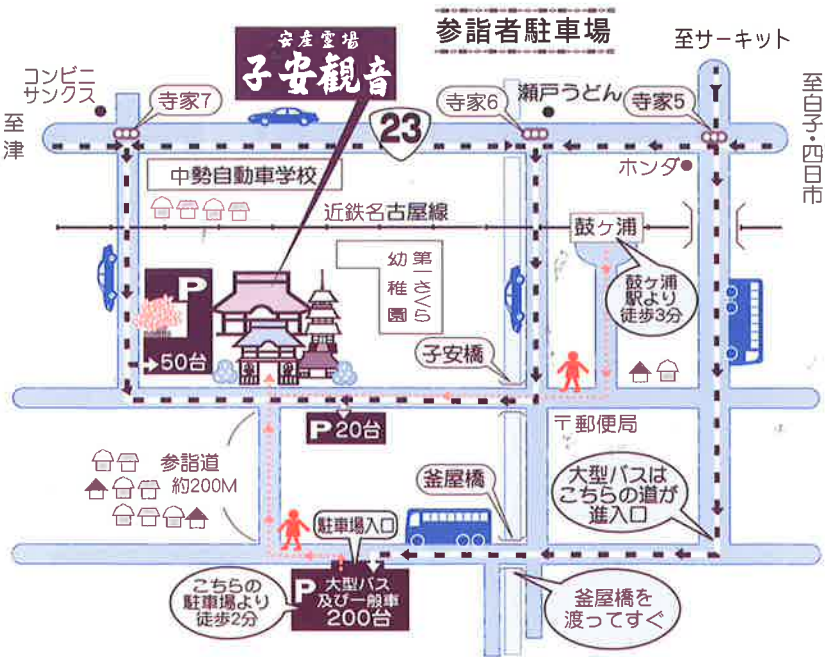
御参拝の栞

- ◆ 観音霊場第二十二番札所
- ◆ 三重四国八十八ヶ所第十六番札所
- ◆ 伊勢西国第十九番札所



江戸時代の古絵図

- ### 年中行事
- お正月 修正会
・一月一日〜三日
厄除開運
 - 節分 会
・二月節分
 - 初午 大法会
・三月初午の日
 - 不断桜供養会
・三月十七日
 - 花まつり 佛生会
・四月八日
 - 十日観音会式
(四万六千功德日)
・八月十日午前
零時御開扉
 - 盆観音会式
・八月十七日
 - 七五三の祝
・十月、十一月
 - 除夜の鐘
・十二月三十一日
 - お誕生法祝会
・毎月
 - 写経・法話の会
・毎月十七日



- 御参詣は…… ◆ 近鉄鼓ヶ浦駅下車3分 ◆ 国道23号線より300m
◆ 三交バス寺家口下車3分(参詣者専用駐車場完備)



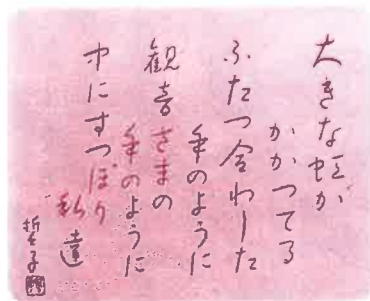
山口誓子先生
ゆかりの庵



伝統と文化継ぐ

静思庵は、元禄年間建立の当山の寺蔵を改築した古風な建物で、屋根・梁床などは当時のままの姿をとどめ、山口誓子先生の命名により「静思庵」と称する。現代俳壇に一時代を画した山口誓子先生は、当時鼓ヶ浦に在住された頃、最も充実した句作の時代を礎かれ、当寺との関係も深められた。襖と屏風・床軸など誓子先生が自選された代表句が揮毫されています。また、伊勢型紙彫刻の人間国宝に指定された方々の作品も展示し、加えて茶席・庭園がゆかしい伝統の美しさを感じさせます。誓子著の書籍類も展示しております。

せん細で優雅な伊勢型紙の代表作で、大阪の万国博に出品されたもの。この他、中村、六谷、児玉氏の作品なども庵内に展示されている。



さくら幼稚園讃歌「虹」

幼児の宗教的情操教育をめざし、当寺の社会事業の一つとして幼稚園が二園設置されている。これは山口誓子先生が当園幼児教育の心を歌われたもの、境内に讃歌碑も建っている。



人間国宝 南部芳松翁彫刻(部分)